

販売士 2 級検定試験実施要項

主催 日本商工会議所 唐津商工会議所
全国商工会連合会 佐賀県商工会連合会
後援 経済産業省 中小企業庁

【平成26年度】 下記により全国一斉に販売士3級検定試験を施行します。

回 数	試 験 施 行 日	申 込 受 付 期 間
第42回	平成26年10月 1日 (水)	平成26年 8月18日 (月) ～ 平成26年 9月 8日 (月)

《試験時間》

午前9時30分開始

《試験会場》

唐津商工会館（唐津市大名小路1番54号）

《受験資格》

学歴、年齢、性別、国籍に制限はありません。

《受験料》

5,660円（消費税込）

《申込方法》

所定の申込書に必要事項を記入し、受験料を添えて、唐津商工会議所までお申込みください。
また、科目免除者はその証明書もご提示ください。
なお、申込書への記入は、原則として受験者本人の自筆とします。
申込受付時間は、平日の8時30分から17時30分までです。

《受験票》

試験施行日の約1週間前までに送付します。試験当日は必ずご持参ください。

《合格基準》

- (1) 採点の方法
筆記試験については、試験科目ごとに100点満点で採点します。
- (2) 合格の判定
筆記試験の得点が平均して70点以上であるものを合格者とし、
ただし、50点に満たない科目がある場合は、不合格とします。

《合格発表》

団体受験者は各団体へ個人受験者は、申込書記載の住所へ郵送通知いたします。
また、合格発表日に唐津商工会議所ホームページに合格者受験番号を掲載いたします。

《試験の一部免除について》

各地商工会議所が開催する「2級販売士養成講習会」または日本商工会議所指定の通信教育機関
（※）による「養成通信教育講座」を修了した方は、直後2回の販売士2級検定試験において、
「販売・経営管理」科目が免除されます。ただし、2級販売士養成講習会の場合には予備試験に合格
した方、養成通信教育講座の場合には全課程を履修しスクーリングを修了した方に限ります。
「販売・経営管理」科目免除者の試験時間は160分となります。

※日本商工会議所指定の通信教育機関：一般社団法人 日本販売士協会 TEL：03-3518-0191
一般社団法人 公開経営指導協会 TEL：03-3542-0306
学校法人 産業能率大学 TEL：03-5419-6085
一般社団法人 日本経営協会 TEL：03-3403-6238

《合格者の特典》

各地の販売士協会に入会できます。

販売士検定試験問題の科目及び内容（2級）

科 目	内 容	制限時間	
小売業の類型	1. 流通と小売業の役割 2. 流通経路政策 3. 組織形態別小売業の運営特性 4. 店舗形態別小売業の運営特性 5. 中小小売業の課題と方向性 6. 商業集積の運営特性	40分 80分	9：30 9：50
マーチャンダイジング	1. マーチャンダイジングの戦略的展開 2. 商品計画の戦略的立案 3. 販売計画の戦略的立案 4. 仕入計画の立案と仕入活動の戦略的展開 5. 販売政策の戦略的展開 6. 販売管理政策の戦略的展開 7. 物流政策の戦略的展開	40分	（ ）
休 憩		20分	11：10 11：30
ストアオペレーション	1. 戦略的ストアオペレーションの展開視点 2. 店舗運営サイクルの実践と管理 3. 戦略的ディスプレイの実施方法 4. レイバースケジュールリングプログラム（LSP） の役割と仕組み 5. 人的販売の実践と管理	40分	11：35
マーケティング	1. 小売業のマーケティング戦略の考え方 2. マーケティング戦略の方法 3. マーケティング・リサーチの実施方法 4. 顧客戦略の実施方法 5. 販売促進の企画と実践 6. 商圏分析の立案と実施方法 7. 出店立地の選定と出店戦略の立案 8. 業態開発の手順と実践	40分 120分	（ ）
販売・経営管理	1. 販売管理者の基本業務 2. 販売管理者の法令知識 3. 販売事務管理に求められる経営分析 4. 店舗組織体制と従業員管理 5. 店舗施設の維持管理	40分	13：35

（注）「販売・経営管理」科目免除者については、後半80分経過後に退出となります。

販売士検定試験受験者への注意事項
(2級)

1. **試験は、筆記試験「小売業の類型」「マーチャンダイジング」「ストアオペレーション」「マーケティング」及び「販売・経営管理」の5科目を行います。**
筆記試験(全5科目)の全科目を受験しないと失格になります。ただし、次のいずれかに該当する者は、販売・経営管理科目が免除されます。なお、受験を希望する者は販売・経営管理科目を受験しても差し支えありませんが、この場合、免除規定は適用されません。
 - (1) 販売・経営管理科目が免除される者
 - (ア) 前々回の検定試験実施後に所定の2級販売士養成講習会を修了し、販売・経営管理科目の予備試験に合格した者
 - (イ) 前々回の検定試験実施後に前記の指定2級販売士養成通信教育講座(スクーリングを含む)を修了した者
2. **受験申込時において所定の申込書類のほか、別に定める受験料及び販売・経営管理科目免除者はその証明書等を提出してください。**
3. **集合時刻までに試験会場に入場するよう、時間厳守してください。**
4. **受験するときに持参するもの**
 - (1) 受験票
 - (2) 黒鉛筆(硬度はHB又はB)及び消しゴム
 - (3) そろばん・電卓等の計算用具
 - (4) 原則として氏名、生年月日、顔写真のいずれも確認できる身分証明書(運転免許証、旅券(パスポート)、社員証、学生証)など)
※ただし小学生以下の方は、必要ありません。
※身分証明書をお持ちでない方は、受験地の商工会議所等にご相談してください。
5. **試験場では、受験票の番号と同じ番号の席に着いてください。**
6. **試験場では、すべて試験委員の指示に従ってください。指示に従わない者あるいは不正行為を行った者は、退場させることがあります。**
7. **試験中は勝手な発言をしないでください。質問があるときは、試験開始前に手を挙げて試験委員に申し出てください。試験後の質問には応じません。**
8. **試験開始から20分間を経過しないと退席は認めません。**
9. **解答記入上の注意**
 - (1) 筆記試験全般に共通する注意事項
次の注意に反したときは、無効とします。
 - (ア) マークシート(答案用紙)にマークする際は、HB又はBの硬度の鉛筆で所定の欄をはっきりと塗りつぶしてください(HB又はB以外の硬さの鉛筆、ボールペン、万年筆等の筆記用具を使用した場合は、無効となります)。
 - (イ) 答を書き直す場合は、訂正する答を消残しないよう消しゴムで消して、答をマークし直してください。
 - (ウ) 一つの設問について、答をすべて同一記号(数字)の選択をした場合は、無効とします。
例えば、すべて1あるいは2、又は1・2・3……などと順に選択した場合は、無効となります。
 - (エ) 同一問題について複数の答を選択した場合は、無効となります。
 - (オ) 免除科目のある方は、免除科目には解答しないでください。免除科目を解答した場合は、採点対象となり、その科目の免除措置は摘要されませんので注意してください。

10. **合格者として認定を受けた者には、認定証(カード型)及び合格証書を交付します。なお、希望者には有料で合格章(バッジ)を交付しますので、希望される場合は、受験した商工会議所に申し出てください。**

- ◆ 認定証等は、合格後5年を経て資格の有効期間を更新する際に必要となりますので大切に保管してください。
また、氏名、自宅住所等連絡先に変更があった場合は、受験した商工会議所または最寄りの商工会議所に必ず届け出てください。届出のない場合は、資格の管理ができなくなることがあります。
- ◆ 合格証書を紛失又は破損した場合は、再発行しません。その場合は、希望により合格証明書を発給しますので、受験した商工会議所または最寄りの商工会議所に申し出てください。
また、認定証を紛失又は破損した場合は、希望により有料(3,090円(税込))で再発行しますので、受験した商工会議所または最寄りの商工会議所に申し出てください。